

## MICE 推進都市におけるサステナビリティ評価制度 実証都市募集要項

近年の世界的なサステナビリティへの関心の高まりを受け、MICE の分野においても、主催者が開催都市を選定する際、都市のサステナビリティへの取組を重視する傾向がみられています。

新型コロナウイルス感染症の影響により一時激減した MICE は回復傾向にありますが、各都市の国際競争力を向上させ、我が国全体の MICE 誘致開催件数を増加させるためには、各都市がサステナビリティへの取組を主体的に推進し、主催者及び世界の MICE 関連機関へ適切に伝えていく必要があります。また、各都市がサステナビリティへの取組について国際的な評価を受けながら、取組を改善し発信力を強化していくことは、各都市及び我が国のデスティネーションとしての競争力・ブランド力の強化にもつながりうるものと考えられます。

観光庁では、今年度の補正予算を活用し、来年度にかけて、MICE におけるサステナビリティ評価制度についての調査事業の一環として、MICE 分野における都市のサステナビリティを測る国際的な評価指標である「GDS-Index」への新規参加による実証を行います。この実証における、参加都市を下記の通り募集いたします。

### 記

#### 1. 申請主体

自治体またはコンベンションビューロー等の MICE 誘致推進機関

※コンベンションビューロー等が申請主体となる場合は、観光分野に限らず自治体等での様々な分野での取組が評価対象となることから、評価を得ようとする都市の自治体の全面的な協力が得られる体制であること。

#### 2. 費用

GDS-Index への参加及びコンサルティングに係る年間費用は観光庁が負担（委託事業者より GDS-Index 本部へ直接送金）しますが、下記の費用が発生する場合は参加都市の負担となります。

- ①コンサルタントが参加都市を訪問してコンサルティングを実施する場合の会場費、機材費等
- ②参加都市内における視察時の移動費
- ③通訳・翻訳費
- ④集合型研修を実施する際の、参加都市の人員の出張旅費

#### 3. 予定スケジュール（2023年）

- ・本募集要項の公表日～3月6日（月）：参加都市の募集（申請書の受付）
- ・3月前半：参加都市決定・通知
- ・3月後半～6月：各都市にて、評価項目に対するデータの収集、入力
- ・4月～12月：コンサルティングの実施（最大28時間を想定）
- ・10～11月頃：GDS-Index による、各都市の評価指標達成率の提示・発表
- ・12月：フォローアップ研修

#### 4. 募集都市数

最大10都市

※選考にあたっては、下記の項目及び実証都市の多様性等を考慮します。

- ・これまでのサステナビリティに関する取組内容。
- ・自治体及び地元のステークホルダーとの協力体制がとれること。
- ・本事業実証後も積極的にサステナビリティにおける取組を継続する意思があること。
- ・国際会議開催実績、都市の規模・特徴等

## 5. 注意事項

- 本事業による「GDS-Index」への参加後、2024 年以降も継続して指標達成率の評価を受けるためには、下記の各プログラムに応じた費用を各都市が GDS-Index 本部に対し、直接支払う必要があります。2024 年度に向けて予算措置をご検討ください。

Standard Assessment プログラム (€3,500)	Premium Assessment プログラム (€7,500)
他の参加都市との比較(基礎項目のみ)	
改善レポートおよびその解説:トレンドと SWOT 分析、推奨事項、ベストプラクティス提案(オンラインにて) 都市のプロフィールページ掲載+GDS のロゴを DMO 側のロゴサイトや PR ツールへの掲載	
コミュニティ参加:GDS メンバーとして「FeelthePulse」セッション・コミュニティフォーラム(スタート予定)に参加 コミュニケーション:都市の特集記事、プレスリリース掲載	
ベンチマーク提出サポート(2 時間): GDS 提出書類の改善方法についてのコーチング、サポート、指導(オンラインセッション)	
戦略立案コンサルティング(4 時間)	戦略立案コンサルティング(28 時間)
—	GDS ポータル内の高度な分析ツール利用

## 6. 提出書類

- 提出物: 都市募集【申請書】
- 提出期限: 3月6日(月) 17:00

※提出が間に合わない場合は下記の担当までお知らせください。

### 【提出先】

観光庁 MICE 室 担当: 坂東・佐藤・伊藤  
Email: [hqt-jp-mice@ki.mlit.go.jp](mailto:hqt-jp-mice@ki.mlit.go.jp) / [bandoh-a2r3@mlit.go.jp](mailto:bandoh-a2r3@mlit.go.jp)  
※上記 2 つのアドレス宛てにお送りください。  
問合せ先: 03-5253-8938

## 7. 情報公開について

- 本事業の実施にかかる参加都市・団体の情報は、事前の協議により同意した内容に限り、観光庁ウェブサイト及び本事業実施報告書等において公表いたしますので予めご了承ください。
- GDS-Index の評価指標達成率については、公開の可否を選択できます。公開を希望しない場合は、GDS-Index のウェブサイトや各種資料には記載されません(参加都市一覧表等には都市名のみ記載)。また、観光庁が公開予定の報告書等においても、評価指標達成率は原則として記載いたしません。観光庁の今後の施策検討資料として使用することをご了承ください。

### 別紙資料

次ページに、GDS-Index についての資料を掲載しておりますので、ご参照ください。なお、GDS-Index の制度等についての説明会の予定やご質問等は、下記までご連絡ください。

GDS-Index 日本パートナー  
Email: [gds@congre.co.jp](mailto:gds@congre.co.jp)

## GDS-INDEX について

### GDS-Index とは？

GDS-Index ( Global Destination Sustainability Index )とは、MICE 推進都市のサステナビリティ戦略およびパフォーマンスを促進するための都市単位で参加するサステナビリティ評価指標プログラムです。

### 運用団体 GDS-Movement について

GDS-Index を運営する GDS-Movement (Global Destination Sustainability Movement)は、特定の組織に属さず、ICCA (国際会議協会)、IMEX、MCI、European Cities Marketing といった複数ステークホルダーにより運用している枠組みで、その事務局を Gubi Consulting (代表：Guy Bigwood) が担当しています。

現在は、GDS-Index のほかに、GDS-Consulting、GDS-Academyなどを運用し、各都市がより多角的にサステナビリティ向上を実現することができるプラットフォームとして機能しています。

**ウェブサイト** <https://www.gds.earth/>

### 世界から認められるサステナブルな MICE 都市へ

GDS-Index プログラムでは、MICE 推進都市が「国際的に通用するサステナビリティ」を推進できるように、下記のサービスが受けられます。

- (1) 指標に基づく第三者評価 (環境、社会、サプライヤー、CVB/DMO)
- (2) サステナビリティ取り組み診断
- (3) サステナビリティ戦略立案コンサルティング、PR、研修
- (4) 広報支援

### 参加することで受けられる項目

- 他の参加都市との比較 (基礎項目のみ)
- 改善レポートおよびその解説：
  - トレンドと SWOT 分析、推薦事項、ベストプラクティス提案 (オンラインにて)
- 都市のプロフィールページ掲載 + GDS のロゴを DMO 側のロゴサイトや PR ツールへの掲載
- コミュニティ参加：
  - GDS メンバーとして「FeelthePulse」セッション・コミュニティフォーラム (スタート予定) に参加
- コミュニケーション：都市の特集記事、プレスリリース掲載
- ベンチマーク提出サポート：
  - GDS 提出書類の改善方法についてのコーチング、サポート、指導する (オンラインセッション)
- 戦略立案コンサルティング
- GDS ポータル内の高度な分析ツール利用

### 参加によるメリット

- 標準化によるサステナビリティへの取り組み向上
- 専門家によるサステナビリティ戦略のブラッシュアップ
- デスティネーション内での協働とイノベーションの創出
- 第三者機関による裏付け
- サステナビリティ事例のプロモーション機会
- 成功事例の共有による取り組みの効率化

**2022 年参加都市と指標達成率** <https://www.gds.earth/2022-results/>

62 都市 \*参加都市90以上のうち、指標を提出し評価を受けた都市

【上位 10 都市】

1. Gothenburg, Sweden	93.0 %
2. Bergen, Norway	88.4 %
3. Copenhagen, Denmark	86.7 %
4. Aalborg, Denmark	86.4 %
5. Bordeaux, France	85.1 %
6. Glasgow, United Kingdom	84.1 %
7. Stockholm, Sweden	84.1 %
8. Belfast, United Kingdom	84.0 %
9. Aarhus, Denmark	83.5 %
10. Oslo, Norway	83.2 %

【地域別参加都市】※地域区分は、GDS-Index の基準

アジアパシフィック： 7 都市

Goyang, South Korea	78.3 %
Melbourne, Australia	76.6 %
Sydney, Australia	73.8 %
Bangkok, Thailand	73.7 %
Singapore	71.1 %
Brisbane, Australia	70.6 %
Sapporo, Japan	59.1 %

北米： 4 都市

Montreal, Canada	74.5 %
Edmonton, Canada	55.4 %
Quebec, Canada	54.0 %
Washington DC, USA	41.8 %

東ヨーロッパ： 5 都市

Tallinn, Estonia	56.6%
Ljubljana, Slovenia	56.3%
Prague, Czechia	51.0%
Krakow, Poland	43.4%
Budapest, Hungary	30.5%

西ヨーロッパ： 30 都市

Bordeaux, France	85.1 %	Glasgow, United Kingdom	84.1 %
Belfast, United Kingdom	84.0 %	Aarhus, Denmark	83.5 %
Lyon, France	83.0 %	Kerry, Ireland	82.4 %
Tirol, Austria	80.9 %	Zurich, Switzerland	80.2 %
Brussels, Belgium	75.9 %	Cork, Ireland	75.0 %
Paris, France	74.3 %	Berlin, Germany	74.1 %
Galway, Ireland	73.2 %	Barcelona, Spain	73.1 %
Bilbao, Spain	71.9 %	Geneva, Switzerland	69.7 %
Vienna, Austria	68.9 %	Clare, Ireland	67.1 %
Flanders, Belgium	66.1 %	Limerick, Ireland	65.9 %
Valencia, Spain	63.8 %	Monaco	63.5 %
Dublin, Ireland	60.8 %	Milan, Italy	60.5 %
Basel, Switzerland	58.8 %	Luzern, Switzerland	58.7 %
Nantes Saint-Nazaire, France	57.7 %	Toulouse, France	56.9 %
Nice, France	50.7 %	St. Gallen-Bodensee, Switzerland	46.5 %

北欧： 16 都市

Gothenburg, Sweden	93.0 %	Bergen, Norway	88.4 %
--------------------	--------	----------------	--------

Copenhagen, Denmark	86.7 %	Aalborg, Denmark	86.4 %
Stockholm, Sweden	84.1 %	Oslo, Norway	83.2 %
Helsinki, Finland	82.8 %	Middelfart, Denmark	80.5 %
Reykjavik, Iceland	80.3 %	Odense, Denmark	76.6 %
Svendborg, Denmark	74.9 %	Faroe Islands, Faroe Islands	73.3 %
Tampere, Finland	72.3 %	Skelleftea, Sweden	71.8 %
Veile, Denmark	61.3 %	Helsingborg, Sweden	47.3 %

(アフリカ、中南米、中東：なし)

## 指標による評価手法

都市のサステナビリティへの取り組みを4つの区分の計70指標で評価。

4つの区分：「環境実績(EN)」、「社会発展度(SO)」、「サプライヤーの実績(SU)」、「都市運営(DM)」



## 3種類のアワード

GDS-Indexは北欧発祥のプログラムであるため、北欧および欧州のMICE商習慣が指標設定のベースになっているものの、単に達成率の数値だけで都市の取り組みが判断されることのないように、毎年、3種類のアワードが用意されています。

- Leadership Award： 達成率の数値を評価（北欧・欧州の都市が有利）
- Innovation Award： かつてない革新的な取り組みを評価
- Most Improved Award： 前年度からの伸び率を評価

## 指標の事例

※指標の全項目はこちら：<https://www.gds.earth/wp-content/uploads/Methodology-2022.pdf>

**EN-01** 気候変動に対する都市としての戦略を持つかどうか。

**SO-10** 公共の路上や移動手段におけるアクセシビリティ配慮

**SU-01** 第三者機関によるサステナビリティ認証を取得しているホテル客室数の割合

**SU-06** 正式な書面でサステナビリティ指針を掲げているイベント関連企業の割合

**SU-07** 第三者機関によるサステナビリティ認証を取得しているイベント関連企業の割合

**DM-25** 主要イベントの参加者が利用できる、公共交通特典にはどのようなものがあるか

- 一般観光客は、無料または割引
- コンベンション参加者は、無料または割引

- 一部のコンベンション参加者は、無料または割引
- すべて徒歩圏内にあり関係なし

**DM-27** コンベンションビューローが会議主催者に対して地域連携プログラムを提案しているか。

- 食糧寄付プログラム
- イベントでの残余物品を寄付する仕組み
- イベント参加者に対して社会貢献やボランティアの場を一覧化し提供
- カーボンオフセットプログラムを提供

## GDS-Index の活用事例

- 高陽市（韓国）  
2017年にGDS-Indexに参加、アジアパシフィック地域にて2022年には7都市中1位（全世界ではベスト20位以内にランクイン）となった。2017年の参加後、評価指標達成率30%から、2022年には78%にまで大きく引き上げ、国際会議の誘致・開催促進に活用している。
- バンコク  
参加初年度（2021年）の評価指標達成率30%から、2022年は74%を獲得し、全世界ではベスト30位以内にランクイン。GDSが都市のチャレンジを評価するために毎年表彰する3種類のアワードのうち、2022年のMost Improved Awardを受賞。  
特に都市運営（DM）及びサプライヤー（SU）の区分で大きく数値を伸ばした。
- シドニー  
シドニー市とMICE関連事業者が協働し、あらゆる環境負荷軽減を目的に、市の観光政策と連動した投資や取組を推進するプロジェクトを立ち上げ、実践したことにより、2019年のInnovation Awardを受賞。現在でも全世界ベスト30位以内のランクインを継続。国立海洋博物館での豪州国内最大規模の軽量ソーラーパネルの設置やオペラハウスでの再生可能エネルギーの大規模調達の実現等、都市を挙げてサステナビリティを推進している。